

平成29年度 大宮南小学校課題研究

研究主題

自分の考えをもち、生き生きと学びあう児童の育成（算数）

主題設定の理由

本校の児童は、穏やかで素直な児童が多く、全体的に熱心に学ぶ姿も見られている。しかしながら、自分に自信がなく、慎重な面も見られる。学力面では、児童の多くは基礎的・基本的な力を持っているが個人差があり、各学年で身に付けておくべき力が身に付いていない児童もいる。また、自分の考えをもっているも、うまく表現できずに伝えられない場面もみられる。

本校の教職員においては、経験の少ない若い教員が増えており、本校の学びのスタンダードの確立や校内で歩調を合わせた指導など、指導の充実と指導力の向上が喫緊の課題にもなっている。以上のことから、基礎学力の定着を図り、「確かな学力」を培う中で、自分の考えをもち、生き生きと学びあう児童を育成することに主題をおいた校内研究を展開する。

《平成29年度 研究の視点》

視点①

「自分の考えをもつ工夫」

- ・導入の工夫
 - ・ICTの活用
 - ・算数的活動の充実
- ◎アクティブラーニングの活用
☆算数ベーシック（自力解決時の工夫）

視点②

「学び合いの工夫」

- ◎アクティブラーニングの活用
 - ペア学習、グループ学習の活用
 - ・ミニ先生によるアウトプット作業
- ☆算数ベーシック（練り上げの工夫）

学年での
授業公開、教材研究

授業研究会

自分の考えをもち、
生き生きと学び合う
児童の育成

南小算数ベーシック
の作成